

滋賀県内企業動向調査 ～2015年4-6月期の実績見込みと7-9期の見通し～ 景況感は、停滞が続く

㈱滋賀銀行のシンクタンクである㈱しがぎん経済文化センター（大津市、取締役社長 中川 浩）では、滋賀県の景気動向を的確に把握するため、「滋賀県内企業動向調査」を実施しています。このほど2015年4-6月期分の調査結果がまとまりましたので、公表いたします。

【調査の概要】

- ・調査名：滋賀県内企業動向調査（2015年4-6月期）
- ・調査時期：2015年5月7日～5月25日
- ・調査方法：郵送による配布、回収
- ・調査対象先：滋賀県内に本社を置く企業および県外からの進出企業 935社
- ・回答数：368社（回答率39%）うち製造業170社、非製造業198社
- ・分析手法：DI（ディフュージョン・インデックス）
質問における回答の選択肢「プラス（良い、増加等）」、「中立（不変、適正等）」、「マイナス（悪い、減少等）」のうち、「プラス」の回答割合から「マイナス」の回答割合を差し引いた指数。

【調査結果の要旨】

1. 現在の業況判断（P2～4）

- ・今回調査（15年4-6月期）での自社の業況判断DIは-14で、前回（1-3月期）の-12から2ポイント低下した。
- ・前回時点での見通し（-17）を上回ったが、消費増税が実施された14年4-6月期以降、5四半期連続で「悪い」が「良い」を上回る状態が続き、停滞感がみられる。
- ・昨年4月の消費増税から1年余りが経過し、駆け込み需要の反動からの立ち直りがみられてきたが、一部では影響が長期化している。円安により輸出取引を伸ばした企業もあった反面、多くの企業では仕入価格の上昇により利益が圧迫されている。この他、原油安の効果もみられたが、全体的には人手不足などの問題もあり、厳しい経営状況が続いているようだ。
- ・製造業は、前回の-14から6ポイント低下の-20となった。食料品が大幅に回復したほか、窯業・土石がもちあいまで戻したが、その他の業種では厳しい状態が続いている。
- ・非製造業は、前回の-10から1ポイント上昇の-9となった。その他の非製造業が大幅に回復したほか、サービスがプラス水準、建設がもちあいまで改善した。一方で不動産、卸売、小売は停滞が続き、前回好調だった運輸・通信は大幅なマイナス水準まで悪化した。
- ・3カ月後は、製造業は現在から16ポイント上昇の-4、非製造業は1ポイント上昇の-8で、全体では8ポイント上昇の-6となる見通し。

2. その他の判断項目（P4～7）

- ・売上DI（前回：-12→今回：-6）は、5四半期振りに上昇。
- ・仕入価格DI（+27→+25）は3四半期連続で低下。
- ・販売価格DI（-4→-1）は、製造業で横ばいも、非製造業で上昇。
- ・経常利益DI（-17→-6）は、上昇するも5四半期連続のマイナス水準にとどまった。
- ・製・商品の在庫DI（+9→+6）は製造業中心に、過大感がやや弱まった。
- ・生産・営業用設備DI（-6→-1）は、不足感が弱まった。
- ・雇用人員DI（-21→-11）は、2四半期連続の上昇も、不足感が残った。

3. 設備投資の実施状況（P8・9）

- ・設備投資を実施した（する）企業の割合は44%で、前回（50%）から6ポイント低下。
- ・主な内容（複数回答）は、「生産・営業用設備の更新」（42%）が最多。次いで「車両の購入」（33%）、「生産・営業用設備の新規導入」（28%）などが続いた。

【お問い合わせ先】 ㈱しがぎん経済文化センター 産業・市場調査部 中村（TEL：077-523-2245）

1. 自社の業況判断

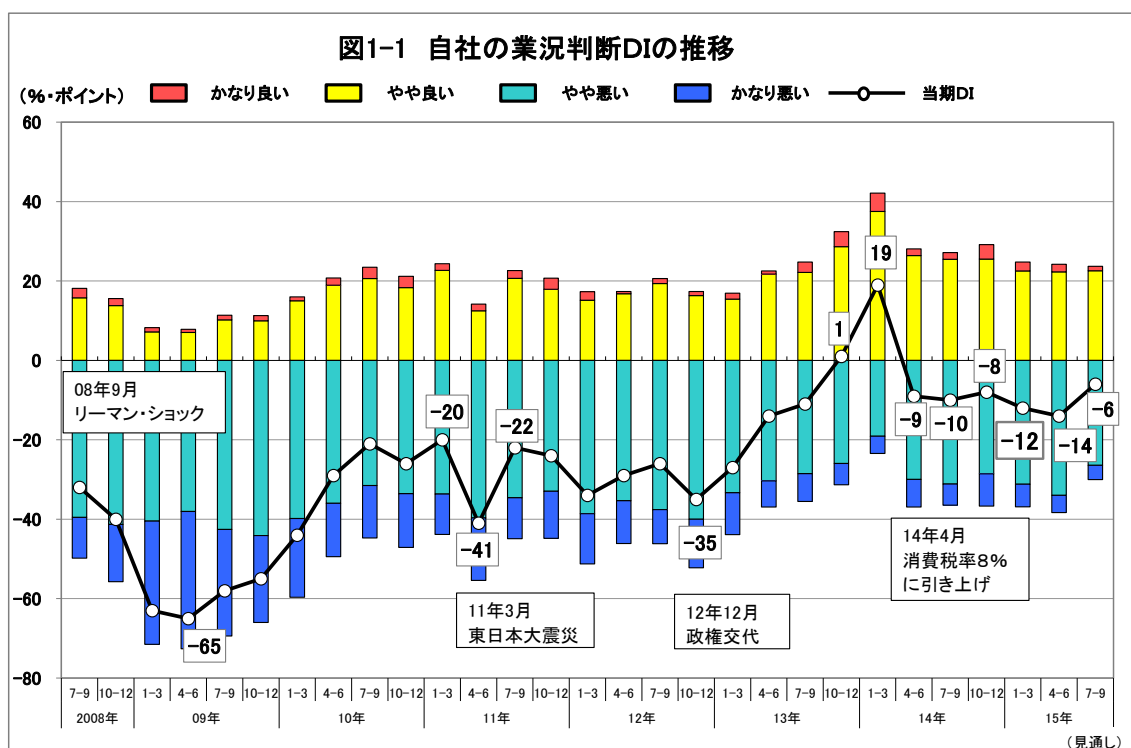
(1) 自社の業況判断DI…5四半期連続のマイナス水準

① 全体の動向 (図1-1)

今回の調査(15年4-6月期)での自社の業況判断DIは前回(1-3月期)の-12から2ポイント低下の-14だった。前回時点での見通し(-17)よりマイナス幅は縮小したが、14年4-6月期以降、「悪い」と答えた企業の割合が5四半期連続で「良い」を上回った。

14年4月の消費増税から1年余り。駆け込み需要からの反動減の影響は、全体的に和らぎつつあるが、住宅や自動車関係などの一部では需要不振が続いており、関連する製造業でも回復が鈍い。調査期間中の対米ドル為替相場は前回調査から円安が継続。輸出取引のある企業ではプラスになったが、調査対象の中心である中小企業や内需型企業には仕入れコストや燃料費への負担増加につながった。また原油安の効果は前回に引き続きみられたが、3月半ばからは取引価格が上昇基調に転じており、すでに採算への影響がみられる企業もあった。

3カ月後は8ポイント上昇の-6と、マイナス水準にとどまるも、回復に向かう見通しを示した。



②業種別の動向 (図1-2、表1)

業種別にみると、製造業は前回の-14から6ポイント低下の-20となった。食料品（前回：-23→今回：+8）が大幅に回復したほか、窯業・土石（-33→±0）がもちあいまで戻した。一方で、輸送用機械（-11→-67）、紙・パルプ（-83→-50）など、その他の業種では厳しい状態が続いた。3カ月後は、輸送用機械、紙・パルプ、繊維などで低調が続くものの、化学、食料品、窯業・土石、金属製品などで改善し、製造業全体では現在から16ポイント上昇の-4となる見通しである。

非製造業は、前回の-10から+1ポイントで、ほぼ横ばいの-9となった。その他の非製造業（-14→+40）、サービス（-5→+8）、建設（-3→±0）は改善した。一方で、不動産（-20→-27）、卸売（-31→-27）、小売（-25→-29）は停滞が続き、前回好調だった運輸・通信（+50→-27）は大幅に悪化した。3カ月後は、現在から1ポイント上昇の-8となる見通しだ。

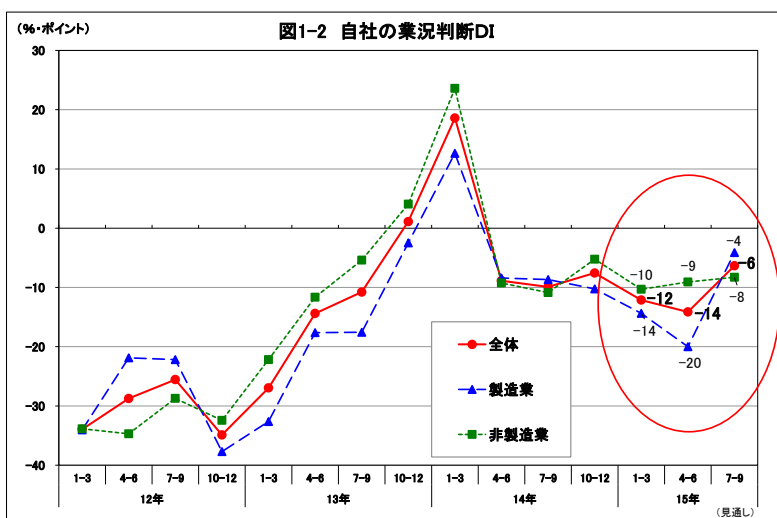


表1 自社の業況判断DI(業種別)

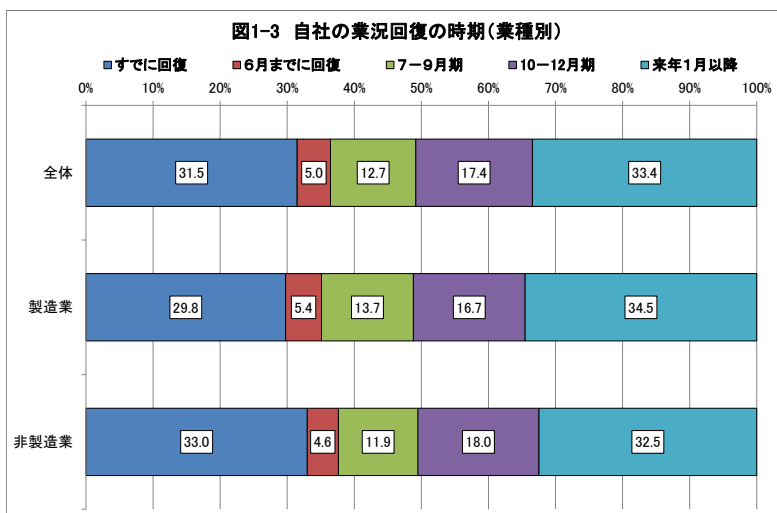
業種(※1)	今回の回答社数	15年 1-3月期 前回	15年 4-6月期 今回(※2)	7-9月期 見通し
全体	368	-12	-14 (-17)	-6
製造業	170	-14	-20 (-15)	-4
繊維	25	-8	-36 (-23)	-36
木材・木製品	13	7	-23 (0)	-15
紙・パルプ	4	-83	-50 (-33)	-50
化学	11	-33	-9 (-22)	27
窯業・土石	8	-33	0 (-17)	13
食料品	13	-23	8 (15)	15
金属製品	17	0	-35 (-30)	6
一般機械	14	-13	-29 (-50)	-7
電気機械	11	-50	-36 (-25)	-27
輸送用機械	6	-11	-67 (-44)	-50
その他の製造業	39	-7	-5 (7)	15
非製造業	198	-10	-9 (-19)	-8
建設	55	-3	0 (-32)	-2
不動産	15	-20	-27 (-20)	-15
卸売	33	-31	-27 (-16)	-15
小売	31	-25	-29 (-16)	-23
運輸・通信	15	50	-27 (-14)	0
サービス	37	-5	8 (-8)	0
その他の非製造業	10	-14	40 (-14)	0

(※1) 回答数が3社以下の業種(石炭・石油、鉄鋼、非鉄金属、精密機械、電気・ガス、リース)は非表示
 (※2) ()内の数値は前回調査時点での4-6月期の見通し

(2) 自社の業況回復の時期…すでに回復は約3割

自社の業況回復の時期をみると、「すでに回復（好調を維持を含む）」した企業の割合は31.5%だった。「6月まで」(5.0%)を合わせても36.5%にとどまった。一方で半年以上先の「来年1月以降」も33.4%と3分の1で、一部では業績不振が続くとみられる。

業種別では、「すでに回復」した企業の割合は、製造業の29.8%に対し非製造業は33.0%と、若干だが非製造業の方が回復の割合が高いとみられる結果となった。



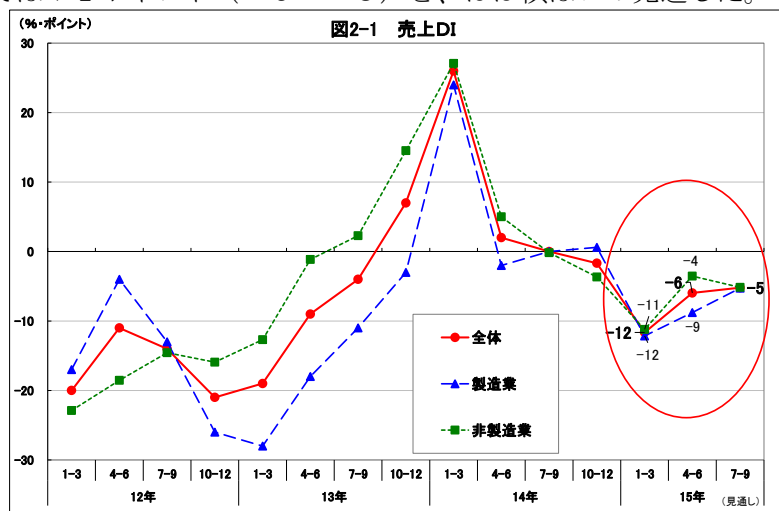
2. その他の判断項目

(1) 売上DI…5四半期振りに上昇

現在の売上DI「増加」と回答した企業の割合から「減少」と回答した企業の割合を引いた値)は-6で、前回の-12から+6ポイントと、5四半期振りに上昇した。

業種別では、製造業は+3ポイント(-12→-9)と上昇した。電気機械、化学、食料品、一般機械などで上昇したが、木材・木製品、繊維、金属製品、その他の製造業などで低下した。非製造業は+7ポイント(-11→-4)で上昇した。その他の非製造業、建設、卸売、サービスなどで上昇したが、不動産、運輸・通信で低下した。

3カ月後は、製造業は+4ポイント(-9→-5)、非製造業は-1ポイント(-4→-5)で、全体では+1ポイント(-6→-5)と、ほぼ横ばいの見通しだ。

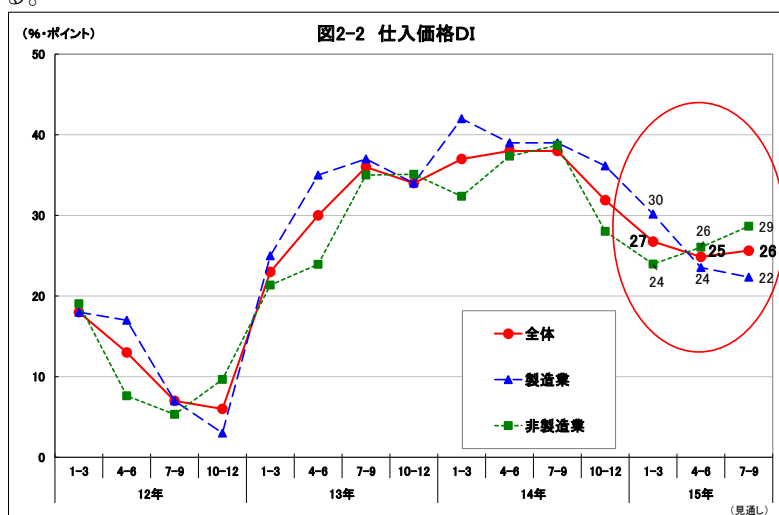


(2)仕入価格DI…3四半期連続で低下するも、厳しい状況が続く

現在の仕入価格DI（「上昇」と回答した企業の割合から「下落」と回答した企業の割合を引いた値）は+25で、前回の+27からマイナス2ポイントと、3四半期連続で低下したものの、厳しい状況が続いている。

業種別にみると、製造業は-6ポイント（+30→+24）だった。電気機械、木材・木製品などで上昇したが、化学がマイナス水準まで、食料品がもちあいまで低下したほか、金属製品や一般機械などでも改善した。一方で、非製造業は+2ポイント（+24→+26）と上昇した。不動産、建設、サービスなどは低下したが、運輸・通信や小売で大幅に上昇した。

3カ月後は、製造業は-2ポイント（+24→+22）と低下するが、非製造業は+3ポイント（+26→+29）と上昇し、全体では+1ポイント（+25→+26）と低下にブレーキがかかる見通しである。

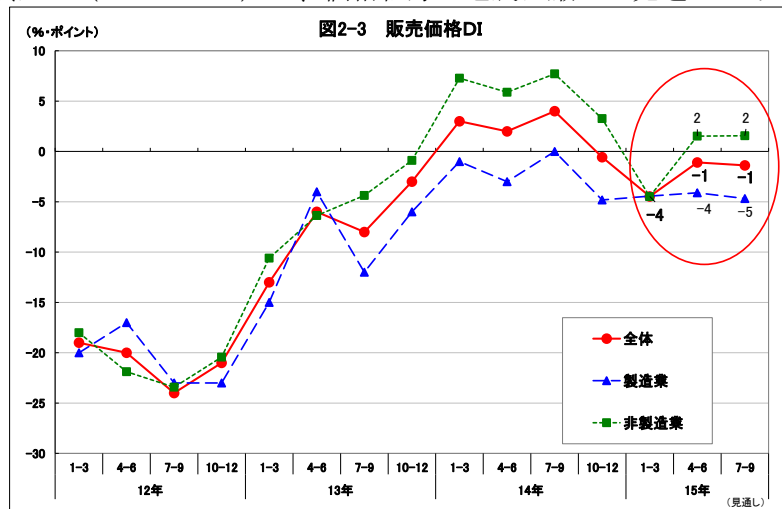


(3)販売価格DI…3四半期振りの上昇も、仕入価格との差は詰まらず

現在の販売価格DI（「上昇」と回答した企業の割合から「下落」と回答した企業の割合を引いた値）は前回の-4から3ポイント上昇の-1でマイナス水準にとどまり、仕入価格との差は詰まらなかった。

業種別にみると、製造業は横ばい（-4→-4）だった。窯業・土石、食料品、金属製品、一般機械などで上昇したが、化学、木材・木製品、電気機械などでは低下した。水準は繊維のみ+20で高かったが、他はもちあいかマイナスとなった。非製造業は+6ポイント（-4→+2）で、プラスに転じた。小売、卸売、運輸・通信は上昇し、プラス水準となったが、不動産、サービスなどで低下した。

3カ月後は、製造業は-1ポイント（-4→-5）だが、非製造業は横ばい（+2→+2）で、全体でも横ばい（-1→-1）と、価格転嫁の進展は厳しい見通しである。

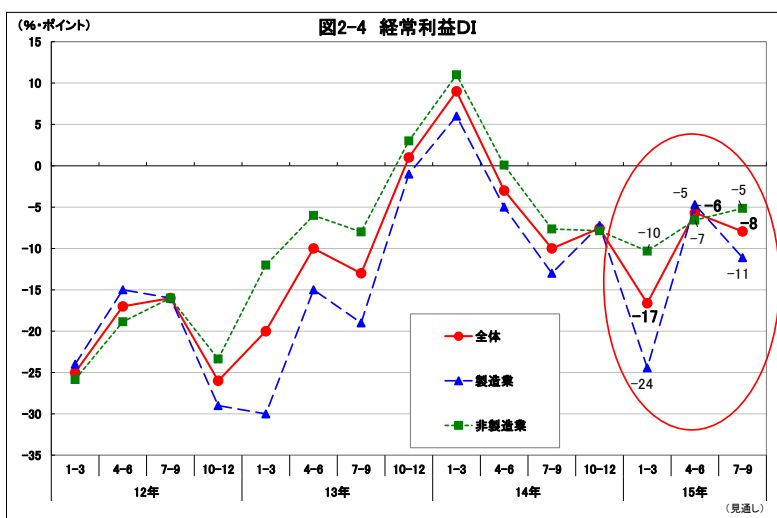


(4) 経常利益DI…大幅上昇も、5四半期連続のマイナス水準

現在の経常利益DI（「増加」と回答した企業の割合から「減少」と回答した企業の割合を引いた値）は-6で、前回の-17から11ポイント上昇したが、5四半期連続でマイナス水準にとどまった。

業種別にみると、製造業は+19ポイント（-24→-5）と大幅に上昇した。電気機械、食料品、化学、一般機械がプラス水準に回復したほか、金属製品、その他の製造業などで上昇した。一方で、木材・木製品、繊維などで低下した。非製造業も+3ポイント（-10→-7）と上昇した。サービス、その他の非製造業でプラス水準に回復したほか、小売で上昇したが、不動産、卸売、運輸・通信で低下した。

3カ月後は、非製造業は+2ポイント（-7→-5）と上昇するが、製造業は-6ポイント（-5→-11）と低下し、全体では-2ポイント（-6→-8）と再び低下する見通しである。

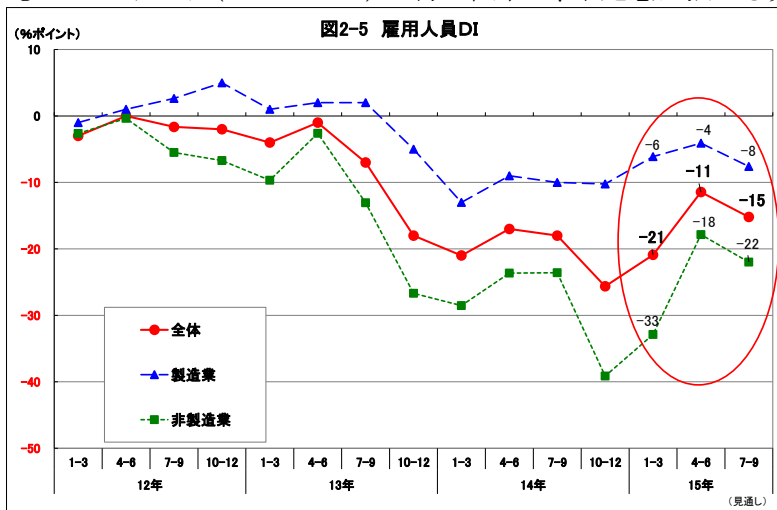


(5) 雇用人員DI…2四半期連続の上昇も、人手不足が続く

現在の雇用人員DI（「過剰」と回答した企業の割合から「不足」と回答した企業の割合を引いた値）は-11だった。前回の-21から+10ポイントと、2四半期連続かつ大幅な上昇となったが、12年7-9月期から12四半期連続でマイナス水準（人手不足）が続く。

業種別にみると、製造業は+2ポイント（-6→-4）と上昇した。一般機械、木材・木製品などで上昇し、なかでも化学、金属製品は過剰に転じた。一方で、食料品、電気機械では不足感が強まった。非製造業は+15ポイント（-33→-18）で上昇した。その他の非製造業が大幅に低下した以外はほぼ上昇し、不動産では過剰に転じた。

3カ月後は、製造業は-4ポイント（-4→-8）、非製造業も-4ポイント（-18→-22）で、全体でも-4ポイント（-11→-15）と再び低下し、不足感は強まる見通しである。

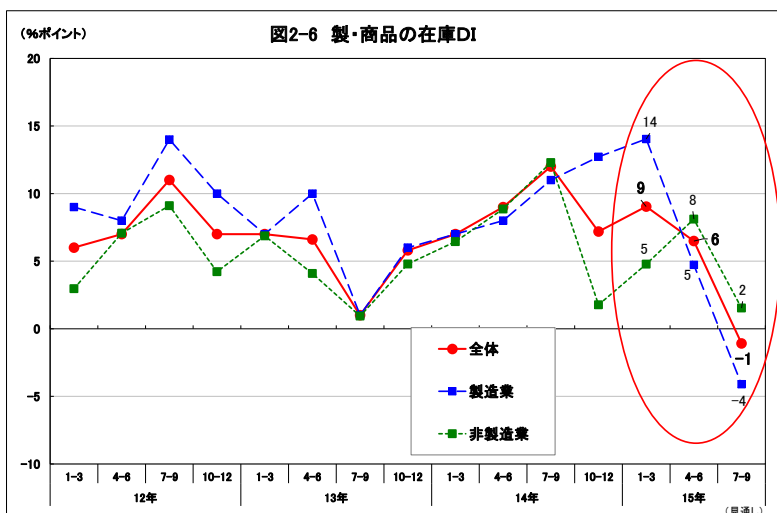


(6) 製・商品の在庫状況DI…過大感はやや弱まる

現在の製・商品の在庫DI（「過大」と回答した企業の割合から「不足」と回答した企業の割合を引いた値）は+6で、前回の+9から-3ポイントと過大感はやや弱まった。

業種別にみると、製造業は-9ポイント（+14→+5）と7四半期振りに低下した。一般機械、輸送用機械、化学などで上昇したが、その他の非製造業、電気機械、食料品、木材・木製品、繊維などで低下した。非製造業は+3ポイント（+5→+8）と、2四半期連続で上昇した。建設、卸売で低下したが、不動産、サービス、その他の非製造業、小売、運輸通信などで上昇した。特に、卸売、小売では強い過大感を示した。

3カ月後は、製造業は-9ポイント（+5→-4）、非製造業は-6ポイント（+8→+2）とそれぞれ低下し、全体では-7ポイント（+6→-1）と、不足に転じる見通しである。

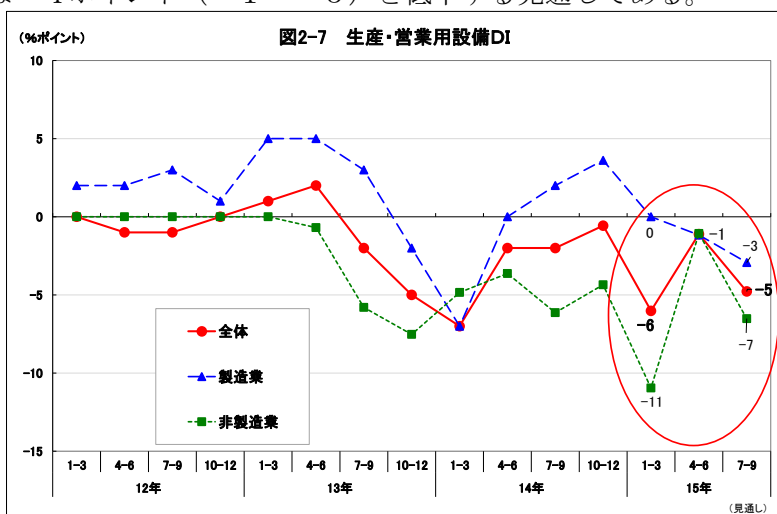


(7) 生産・営業用設備DI…不足感はいったん解消へ

現在の生産・営業用設備DI（「過剰」と回答した企業の割合から「不足」と回答した企業の割合を引いた値）は、前回の-6から+5ポイントの-1と、不足感はほぼ解消された。

業種別にみると、製造業は-1ポイント（±0→-1）とやや低下した。金属製品、一般機械、化学、繊維では過剰となったが、紙・パルプ、窯業・土石、輸送用機械などで不足となった。非製造業は+10ポイント（-11→-1）と上昇した。不動産、卸売、小売、運輸・通信、その他の非製造業で適正水準に近づいたが、建設は過剰、サービスは不足となった。

3カ月後は、製造業は-2ポイント（-1→-3）、非製造業は-6ポイント（-1→-7）、全体では-4ポイント（-1→-5）と低下する見通しである。



3. 設備投資の実施状況

(1)設備投資の実施割合…44%と投資意欲低下

今期（4-6月期）に設備投資を実施した（する）企業の割合は44%だった。14年1-3月以降、50%前後の高水準で推移していたが、前回（15年1-3月期：50%）から6ポイント低下し、投資意欲にやや減速感がみられた。

業種別にみると、製造業は45%（前回54%から-9ポイント）で、うち窯業・土石で6割以上、金属製品、一般機械、繊維、紙・パルプ、輸送用機械で5割以上となった。非製造業は44%（同47%から-3ポイント）で、運輸・通信で6割以上、サービスで5割以上となった。

3カ月後の設備投資実施予定の割合は、製造業が43%、非製造業が35%で全体では39%と、さらに低下する見通しである。

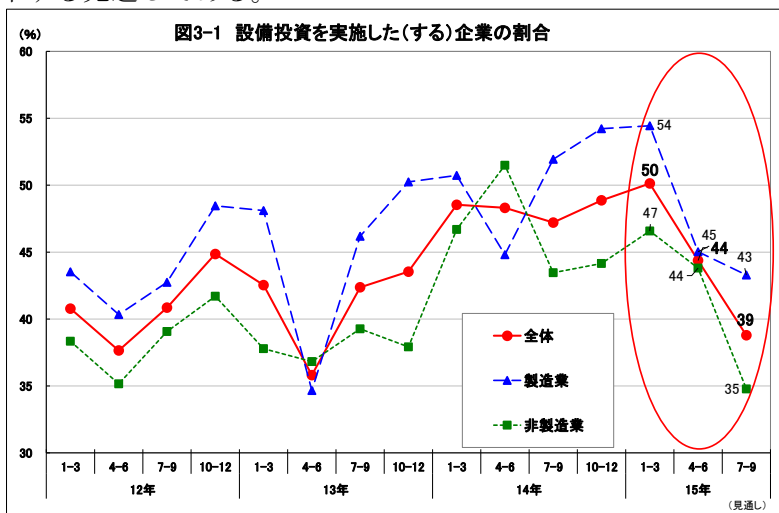


表3 設備投資を実施した(する)の企業の割合(業種別詳細)

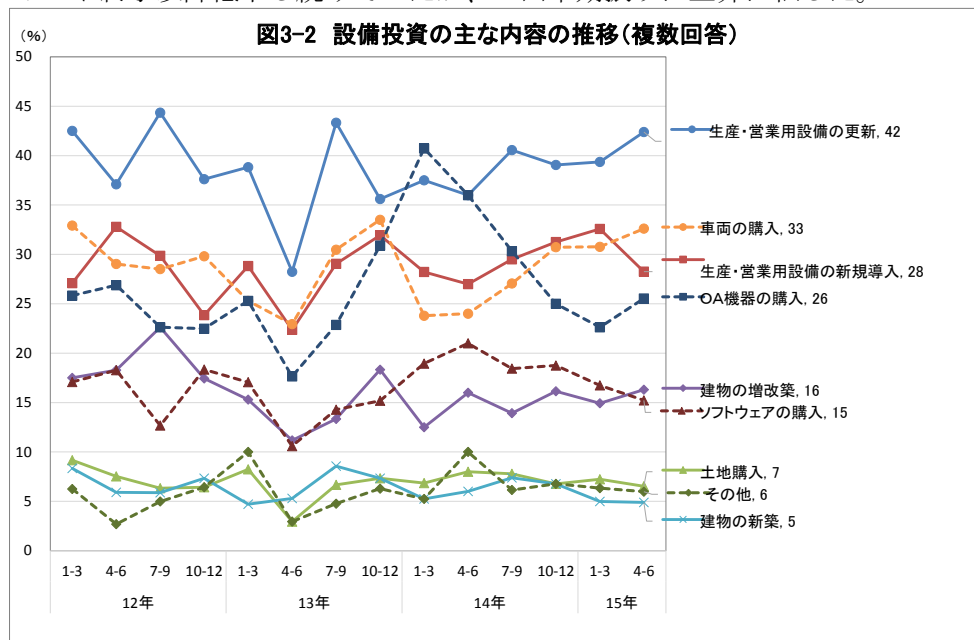
業種(※)	15年 1-3月期 前回	4-6月期 今回	7-9月期 見通し
全体	50	44	39
製造業	54	45	43
繊維	42	52	63
木材・木製品	43	23	17
紙・パルプ	20	50	50
化学	67	45	36
石油・石炭	X	X	X
窯業・土石	67	63	71
鉄鋼	X	X	X
非鉄金属	67	X	X
食料品	46	38	50
金属製品	60	59	24
一般機械	75	57	50
電気機械	63	18	50
輸送用機械	67	50	67
精密機械	60	X	X
その他の製造業	51	43	34
非製造業	47	44	35
建設	44	49	26
不動産	33	27	23
卸売	34	39	30
小売	44	33	34
運輸・通信	57	67	50
電気・ガス	X	X	X
サービス	59	50	47
リース	X	X	X
その他の非製造業	71	40	50

(※)回答数が3社以下の業種は非表示

(2)設備投資の主な内容…「生産・営業用設備の更新」が4四半期連続トップ

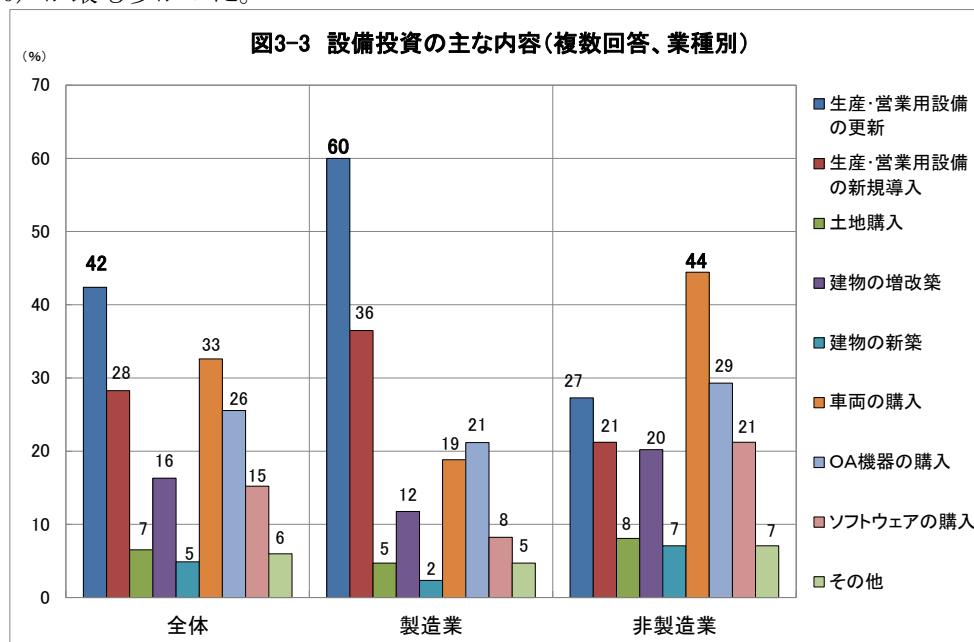
①全体の動向 (図3-2)

設備投資を実施した(する)企業のうち、設備投資の主な内容をみると(複数回答)、「生産・営業用設備の更新」(42%)が最も多かった。次いで「車両の購入」(33%)、「生産・営業用設備の新規導入」(28%)などが続いた。「OA機器の購入」(26%)は14年4月のwindows X Pサポート終了以降低下し続けていたが、5四半期振りに上昇に転じた。



②業種別の動向 (図3-3)

業種別にみると、製造業は「生産・営業用設備の更新」(60%)、非製造業は「車両の購入」(44%)が最も多かった。



【参考資料】

1. 現在の業況判断の根拠となる具体的な理由や背景（一部抜粋）

【製造業】

「良い」（かなり良い+やや良い）

業種	意見
繊維	・原油価格の下落で今期は仕入が下落し利益率が上昇したが、現在は反対に原油価格が上昇し利益幅が減少している。 ・円安の影響で海外向け製品の動きが活況だったが、反面エネルギー及び原材料関連のコストが増加した。
木材・木製品	・手持ち受注残が増加した。
化学	・海外事業の拡大や円安により輸出収益が向上した。
窯業・土石	・原油安の影響で灯油の仕入価格がかなり下がった。製品単価の値上げが徐々にできてきた。 ・新規事業が順調に伸長しているが、夏ごろ停滞する可能性がある。
非鉄金属	・新規受注により売上が増加した。 ・安定的にスクラップが発生している。国内生産が増加した。
食料品	・従来品の売上は減少しているが、新製品が好調。
金属製品	・車、プラント産業など、輸出関連産業が10%位増加している。
その他の製造業	・円安により、増益。 ・仕事量が少し増えているが、自動車関連のみで他業種は減少している。 ・国内企業の製品別コストの見直しなどで内作か外注の区分化が進んで来ており、小ロット多品種の製造が多くなり、前年対比5%程度売上が増加。

「悪い」（かなり悪い+やや悪い）

業種	意見
繊維	・長期に渡って円安が続いており、原材料(生糸)の仕入金額が増大している。 ・景気低迷による自動車の販売低迷が影響している。
木材・木製品	・前年の消費増税以降、新設住宅着工戸数が減少し、住宅事業(構造躯体)の売上が今期15%減少した。
紙・パルプ	・大衆薬の売上不振。
化学	・昨年度と比較して売上が減少している。
非鉄金属	・太陽光関連商品が急激に悪化、家電向けハーネスの受注が減少した。
金属製品	・現状、自動車向け製品が全体的に過剰気味で在庫調整局面。ただし、元来の供給および生産能力に対しては悪くない。今後、海外向け生産が伸びる見込みだが、その先の見直しは不透明。 ・自動車メーカーの販売不振在庫調整のため、今期の売上が減少した。
一般機械	・円安の影響により仕入価格が上昇しているが、売上は順調に推移。
電気機械	・各工場の設備投資に意欲がみられない。 ・輸出の注文が減少した。
輸送用機械	・為替の影響で輸入仕入れ額が増加した。
その他の製造業	・家電、通信、半導体関連の先行きが不透明。 ・中国国内の現地法人の受注減少により、同国現地法人向けの輸出が減少。

【非製造業】

「良い」(かなり良い+やや良い)

業種	意見
建設	<ul style="list-style-type: none"> ・投資型の建築施設工事が増加した。 ・自動車メーカーおよび部品メーカーが設備投資を積極的に行っているため、受注が増加した。 ・売上が50%増加しているが、今後の見通しは不透明である。
不動産	<ul style="list-style-type: none"> ・業務計画比での進捗率が順調。今期の売上目標は達成できる見込み。
小売	<ul style="list-style-type: none"> ・新店が好調。 ・増税後の買い控えが一巡し、売上が10%増加。 ・消費税再増税の影響で駆け込み需要が増加してきた。
サービス	<ul style="list-style-type: none"> ・大型連休時の集客が多く売上の底上げにつながった。 ・売上は横這いであるが、利益面では50%以上改善している。 ・3年ぶりに大型案件を受注した。

「悪い」(かなり悪い+やや悪い)

業種	意見
建設	<ul style="list-style-type: none"> ・新年度に入り、公共工事の発注が遅れている。現場が動き出すのは秋以降になると見込まれる。 ・公共工事の受注が少ない。 ・建設業以外にマンション、倉庫、アパートの需要が減少。 ・まとまった設備工事が少なく売上が減少。 ・昨年が消費増税の影響で決算が悪くなったが、回復傾向にはある。
不動産	<ul style="list-style-type: none"> ・需要と供給のバランスがくずれ一段の競争激化が予想される。 ・不動産流通はお客様の物件物件についてインターネット選考が最近は多くなった。
卸売	<ul style="list-style-type: none"> ・消費増税後の消費低迷の長期化、天候不順の影響で売上が減少。 ・服飾付属業界全て悪い。 ・原油価格が上昇基調。
小売	<ul style="list-style-type: none"> ・消費増税の駆け込み受注や、IT機器買替等で予想以上の反動で、売上が前年比マイナス。 ・悪天候により、売上が減少。 ・主力取引先において設備投資計画などが低調、拠点集約でライン廃業など、売上上昇につながる要素がない。 ・昨年対比で4月の売上が25%回復するも、一昨年との比較ではマイナス5%となっている。 ・原油騰勢でコストが上昇、ガソリン価格が値上げとなった。マージン不足で採算販売ができない。 ・原油安の営業で販売単価が下がった。
運輸・通信	<ul style="list-style-type: none"> ・長年の取引先との契約解除により売上が減少する見込み。新規開拓も含め、業況回復に努める。 ・燃料高騰で経費負担が大きい。 ・営業強化で売上は前年比で2%増加したものの、経費負担増加により利益は15%減少。
サービス	<ul style="list-style-type: none"> ・売上が減少している。

2. DI回答一覧(業種別)

項目	業況判断DI				売上				仕入価格				販売価格			
	前回		今回		前回		今回		前回		今回		前回		今回	
	15年 1-3	15年 4-6	15年 4-6	15年 7-9	15年 1-3	15年 4-6	15年 4-6	15年 7-9	15年 1-3	15年 4-6	15年 4-6	15年 7-9	15年 1-3	15年 4-6	15年 4-6	15年 7-9
調査時期	現在	見通し	現在	見通し	現在	見通し	現在	見通し	現在	見通し	現在	見通し	現在	見通し	現在	見通し
全体	-12	-17	-14	-6	-12	-18	-6	-5	27	24	25	26	-4	-3	-1	-1
製造業	-14	-15	-20	-4	-12	-17	-9	-5	30	21	24	22	-4	-4	-4	-5
繊維	-8	-23	-36	-36	19	27	-16	52	46	32	40	32	19	15	20	8
木材・木製品	7	0	-23	-15	0	23	-38	31	23	8	31	31	23	8	0	8
紙・パルプ	-83	-33	-50	-50	-50	50	25	25	0	0	75	0	0	17	0	0
化学	-33	-22	-9	27	-44	56	-9	9	0	-22	-9	18	0	-22	-18	-9
石油・石炭	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X
窯業・土石	-33	-17	0	13	-33	33	-38	25	50	33	13	13	-33	-33	0	-13
鉄鋼	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X
非鉄金属	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X
食料品	-23	15	8	15	-31	38	0	15	46	15	0	8	-23	0	0	15
金属製品	0	-30	-35	6	-20	50	-35	24	30	30	18	18	-5	-10	0	-6
一般機械	-13	-50	-29	-7	0	38	29	7	31	38	21	29	-13	-6	-7	-21
電気機械	-50	-25	-36	-27	-75	50	27	36	0	38	27	18	-25	-13	-27	-18
輸送用機械	-11	-44	-67	-50	-11	78	-33	33	11	11	17	33	0	0	0	0
精密機械	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X
その他の製造業	-7	7	-5	15	5	27	-5	33	38	18	33	23	-15	-7	-8	-5
非製造業	-10	-19	-9	-8	-11	-19	-4	-5	24	27	26	29	-4	-1	2	2
建設	-3	-32	0	-2	-13	48	4	22	36	36	24	30	-3	-5	-4	-2
不動産	-20	-20	-27	-15	20	33	-33	31	63	43	31	25	0	0	-7	-7
卸売	-31	-16	-27	-15	-36	37	-21	21	22	23	27	30	-9	2	3	3
小売	-25	-16	-29	-23	-20	31	-19	39	10	18	33	33	-13	-3	10	17
運輸・通信	50	-14	-27	0	43	36	0	13	-8	0	31	38	7	0	14	7
電気・ガス	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X
サービス	-5	-8	8	0	2	26	14	36	26	32	21	24	0	3	-3	-6
リース	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X
その他の非製造業	-14	-14	40	0	-14	29	40	22	29	29	22	13	14	0	10	11

項目	経常利益				製・商品の在庫				生産・営業用設備				雇用人員			
	前回		今回		前回		今回		前回		今回		前回		今回	
	15年 1-3	15年 4-6	15年 4-6	15年 7-9	15年 1-3	15年 4-6	15年 4-6	15年 7-9	15年 1-3	15年 4-6	15年 4-6	15年 7-9	15年 1-3	15年 4-6	15年 4-6	15年 7-9
調査時期	現在	見通し	現在	見通し	現在	見通し	現在	見通し	現在	見通し	現在	見通し	現在	見通し	現在	見通し
全体	-17	-22	-6	-8	9	-4	6	-1	-6	-5	-1	-5	-21	-17	-11	-15
製造業	-24	-24	-5	-11	14	-4	5	-4	0	-3	-1	-3	-6	-4	-4	-8
繊維	8	-27	-12	-24	19	15	8	8	12	4	4	0	-8	-12	-4	-12
木材・木製品	8	-23	-15	-23	31	31	15	23	-8	-8	-8	0	-15	-8	-8	0
紙・パルプ	-33	-33	-50	-25	0	0	0	25	17	0	-25	-25	0	0	0	-25
化学	-22	-22	9	18	-11	0	-9	0	0	0	9	-9	0	-11	27	0
石油・石炭	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X
窯業・土石	-33	-17	-38	-38	17	0	0	13	0	-17	-13	0	0	0	0	25
鉄鋼	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X
非鉄金属	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X
食料品	-54	-15	23	31	0	0	-15	-23	0	-8	0	0	-8	-15	-31	-38
金属製品	-45	-55	-18	6	16	21	0	0	5	0	18	6	0	15	6	12
一般機械	-13	-25	14	0	0	0	21	21	-6	6	14	14	-13	-6	0	0
電気機械	-100	-25	18	-9	38	0	18	9	0	-13	-9	0	0	-25	-9	-9
輸送用機械	-22	-44	-50	-33	0	11	50	33	0	0	-17	-17	22	22	0	0
精密機械	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X
その他の製造業	-20	-7	0	-20	30	8	-5	-3	-5	-7	-5	-8	-12	-10	-5	-15
非製造業	-10	-20	-7	-5	5	-4	8	2	-11	-7	-1	-7	-33	-27	-18	-22
建設	-6	-29	0	-4	-5	-2	-10	-8	-5	-3	4	-8	-38	-34	-20	-31
不動産	-10	-33	-40	-8	-20	-33	13	0	-13	-14	0	0	-22	-13	14	0
卸売	-20	-19	-42	-12	31	19	30	12	-11	-5	0	-6	-13	-2	-9	-12
小売	-35	-18	-6	-6	13	13	19	3	-10	-5	0	-3	-40	-41	-32	-35
運輸・通信	50	-7	0	13	0	-15	7	-7	-14	-14	0	-8	-43	-36	-13	-7
電気・ガス	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X
サービス	-2	-8	16	-6	-11	-6	0	-3	-22	-18	-12	-13	-39	-28	-16	-23
リース	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X
その他の非製造業	-29	-43	30	-11	0	0	11	25	0	0	0	0	-29	-43	-50	-11

※回答数が3社以下の業種は非表示(Xと表示)